

第394号 (令和4年5月6日(金)発行)

発行所

京都女子大学 宗教部

京都市東山区今熊野北日吉町35  
電話 075 (531) 7074

# 華利陀

風に揺るがぬ 威のように  
誇りと 誉れの 中にあるとも  
目覚めた人の ころは 豪も  
揺らくことなし 磨にも似て

「ダンマバダ」八一  
京都女子大学「聖典」  
一四頁



文学部准教授 中西 俊英

## 煩惱をとおして

「悪」という悪はこれを  
「意思」があるとして、  
「善」という善はこれを  
「意思」がないとして、  
「悪」という悪はこれを  
「意思」があるとして、  
「善」という善はこれを  
「意思」がないとして、

この「ダンマ・バダ」  
の二節から端的に知られ  
るように、仏教の特徴は  
「魔悪修善」とも指摘さ  
れます。「魔悪修善」に  
よって「さとり」へと到  
達することを目指す。そ  
れゆえ、仏教における善  
悪は、「さとり」への到  
達ということを基準にし  
て規定されます。たとえ  
ば、「さとり」という結  
果ではなく、輪廻という  
結果をもたらすものは悪  
い行為となるのです。ひ  
じょうにややこしい問題  
なので詳しくは立ち入り  
ませんが、私たちの日常  
的な感覚でいう善悪とは  
異なる点には注意が必要  
です。そして、善い行為  
にせよ、悪い行為にせよ、

このようなシチュエーショ  
ンで各種の心のはたらき  
が起るのか、について  
も検討がなされていま  
す。仏教徒たちは、実践  
にもとづく体験を整理  
し、言語化し、教理とし  
て体系化していったので  
す。  
このような心のはたら  
きの内容を見ると、日常  
生活に当てはまること  
が多いかと思えます。服  
を買って行って(たいて  
い合ってもないのに)店  
員さんから褒められて  
「嬉」でしよう。SNSに  
アップされた他人の日常  
に心を乱される。これは  
「嫉」や「慢」ですね。  
無意識にスマホを見てし  
まい、情報という刺激を  
追い求めてしまう。これ  
は「放逸」と「貪」。課  
題をついつい後回しにし  
てしまう。これは「懈怠」  
もしくは「昏沈」でしょ  
うか。私たちの日常には、  
悪い方の心のはたらき、  
いわゆる「煩惱」が満ち  
あふれています。様々な  
シチュエーションで、各  
種の心のはたらきを組み  
合わせて起り、瞬間  
瞬間の私たちの感情を形  
成している。人間って本  
当に複雑ですね。

ところで、近年、人工  
知能の分野たとえばゲー  
ムAIのデザインにおい  
て、仏教の煩惱の理論に  
注目が集まっています  
(三宅陽一郎「人工知能  
のための哲学塾 東洋哲  
学篇」、ビー・エヌ・エ  
ヌ新社)。人口知能には  
欲求やこだわりがありま  
せん。この世界にたいす  
る執着がないので、生  
物っぽくないのです。そ  
んな人工知能に煩惱をも  
たせることで人間に近づ  
けてゆく。そのモデルと  
して、人間の内面を見つ  
めて体系化していった仏  
教の理論が注目されたの  
です。  
仏教を学ぶと煩惱につ  
いて必然的に学ぶこと  
になります。煩惱を学ぶこ  
とで、「人間とは何か」  
という根源的な問いにた  
いて取り組むことにも  
つながってゆきます。  
煩惱を減らして「さとり」  
の境地に到達することが  
仏教の目標です。そのた  
めには、自分自身で教えを  
理解し、納得し、実践す  
るということが(聞・思・修)  
が求められます。興味深  
いことに、仏教の歴史的・  
地域的展開の中では、人  
間の複雑性という問題に  
向き合うなかで、別の受

けるのか。煩惱という人  
間の影の部分を見つめた  
一つの結論です。それゆ  
えの、影と表裏一体の光  
阿彌陀仏の平等の救いと  
いう受けとめ方になるの  
です。  
理性にもとづいた合理  
的な判断が人間は可能な  
のだという前提で、現代  
社会はこれまで発展して  
きました。煩惱に由来す  
る感情の暴走によって争  
いが起るのであり、理  
性にもとづく合理的判断  
によってこそ平和を保つ  
ことができる。このよう  
な理解は、はたして正し  
いのでしょうか。戦争と  
いう過ちは、(二〇二二  
年三月二十五日の本稿執  
筆時においても)現実  
に繰り返されています。  
むしろ、理性が暴走した  
結果の大惨事であり、そ  
の原因は、「理性によつ  
て物事を合理的に判断で  
きる」という人間にたい  
する理解の単純化ではな  
いか、とも思えます。今  
一度、考えねばならない  
問題でしょう。  
人間は複雑です。だか  
らこそ、人間存在にたい  
する、そして自分自身に  
たいする解像度を高める  
必要がある。仏教の煩惱  
の理論を学び、自分自身  
に問いかけてゆくこと  
は、その一助になると思  
います。

## 京女への通学路 いまむかし

②1914年 東山のふもとに新校舎できる



新築校舎遠景

京都高等女学校(高  
女)と裁縫女学校(裁女)  
は、一九一四年八月、  
広い校地を求めて、五  
条堀川の学舎から大谷  
光瑞校主が所有してい  
た現在地(京都女子中  
学・高等学校の北側)に  
移転しました。写真は  
一〇〇年ぶりに発見さ  
れた『校友会報』第四号  
の口絵の一部です。こ  
の時、平屋建て四棟、  
二階建て三棟、それに  
屋外体操場と園芸場が  
設けられたといひます。  
「九月の始め、父母  
と、もに、京都駅につ  
き、新築せられたる駅  
の美しさに驚きつ、  
七条大橋をすぎ、妙法  
院前まで来し時、新校  
舎といふ事の嬉しさに  
びしをりの嬉しさに」(『校  
友会報』第四号)とは、二  
学期の開始に合わせて  
入浴してきた高女生が  
書き記した一文です。  
京女の移転は、二代目  
京都駅の完成と同じ年  
でした。京都のモダニ  
ズムが広がります。  
「諸子が学が家は今や  
新たになり諸子が周囲  
は清新なる空気を以て  
満たされたり。…され  
ど思へ、宝玉は土中  
に埋る、も宝玉たるの価  
値を失はず、小石は錦  
囊(にしきのふくろ)に  
包まる、も小石たるを  
免れじ、諸子が今やた  
とへ完全なる学舎に於  
て学ばんも其実力に於  
て其精神に於て欠如す  
る処あらば蓋し亦小石  
の錦囊に包まる、の誹り  
を免れざるべし」(同)  
当時の校長・朝倉暁瑞  
が好んだ訓示の一節で  
す。時は移れど、磨く  
べきはうわべではなく、  
内面であることに変わ  
りはないようです。  
(史学科・坂口満宏)

令和4年5月 月例礼拝日程表				
日	曜日	講時	対象学生	担当
23	月	1	現社1A・1B	西・打本
		2	史学1A・1B	内手・西山
		4	児童1	黒田
24	火	1	心理1	藤井
		3	造形3A・3B	赤井・西
		4	英文3A・3B	森田・清基
25	水	1	法学3A・3B	普賢・西
		3	国文3A・3B	小池・中西
		4	現社1C・1D	那須・西山
27	金	1	教育1	井上
		2	英文1A・1B	塚本・川元
30	月	1	食物3A・3B	黒田・西
		2	国文1A・1B	中西・壬生
		4	史学3A・3B	壬生・中西
31	火	1	教育3	黒田

ウクライナで凄惨な状況が続いている。この号が発行される頃には事態が終息していればよいのである。宗教という点、現実離れした理想を語るのみで、無意味であるばかりか、自らと異なる立場を拒み、争いを招くものとして、否定的に語られることもある。そうした宗教が絶対にならないと言われないが、極端な理解であろう。理想や目標を持たずに過ごすことは、目の前の現実に漫然と流されていくことになりはしないか。高い目標を掲げ、それに一歩ずつ近づけるよう、着実な努力を続けることが必要である。「平和」という理想は、絶望的に高い目標である。しかし、それを棄ててはならない。仏教は平和の宗教であると言われ、暴力によって広まった宗教ではない。異なる宗教を持つ人々とともに歩み、寄り添うことを通して広まった歴史を持つ。学生の頃、外国人の友人に、「仏教はすばらしい。平和の教えだ」と言われたことがある。彼は母国の独立戦争の経験者であった。ロシアの行為は非難されて然るべきである。ロシア軍の即時撤退を求めたい。それとともに、今なお世界各地で見られる、すべての暴力の停止を訴えたい。平和を求めることは、相互の違いを尊重し、調和を目指す営みである。今の自分のできることに本当にないのか、それぞれの立場で、考え、行動することが、いま、強く求められている。(義)



# 人の困りごとは 社会が作る

## 国際交流センター助教 滑川 恵理子

私は二〇二〇年度に採用され、同年に新規開講された日本語教師課程を担当しております。  
**悪戦苦闘の日々**  
今から二十年ほど前、三十代半ばだった私は、一人の児童を前に途方に暮れていました。日本語指導協力者という自治体が雇用する非常勤講師の仕事をはじめ、数年後のことでした。その男児は東南アジアの国の出身で小学校に入学したばかり。彼の姉の日本語指導を前年から担当していたことから、彼らの母語はできませんが、引き受けたのでした。

と知ったので、かの有名な主題歌と一緒に歌ってみました。私が歌うのに「ふんふん」と鼻歌のようにリズムで復唱するものの、歌詞らしいものが発音されません。来日から一年以上経つのに「この年齢の子どもが好きなテレビの歌を自然に覚えることができないなんて」とこんな調子で、夏休みまでに文字と発音と実物を一致させることができたのはわずかに「て(手)」と「め(目)」つまり体の一部の一音語が二つという結果でした。夏休みに入り、私は日本語指導を主管する教育委員会指導主事を訪ね、「この子にどのように教えたらいのか教えてください」と懇願しました。が、納得できる回答を得られませんでした。その主事自身も教えられる環境になかったからです。そこで「教えてもらえるところへ行こう、同じ悩みを抱えている人が必ずいるはず」と一念発起、大学院進学に挑みました。**本学で夢に近づく**  
このように私の原点は「困っている子どもと指導者がたくさんいる。先生の先生になりたい」という思いから約十五年、それが導かれていきました。ご縁に導かれていきました。言いようがありません。本学の日本語教師課程の最大の特徴は「保育士および幼/小/中/高の教職課程履修生にも一息頑張って日本語教師課程も履修してもらおう、その

と知ったので、かの有名な主題歌と一緒に歌ってみました。私が歌うのに「ふんふん」と鼻歌のようにリズムで復唱するものの、歌詞らしいものが発音されません。来日から一年以上経つのに「この年齢の子どもが好きなテレビの歌を自然に覚えることができないなんて」とこんな調子で、夏休みまでに文字と発音と実物を一致させることができたのはわずかに「て(手)」と「め(目)」つまり体の一部の一音語が二つという結果でした。夏休みに入り、私は日本語指導を主管する教育委員会指導主事を訪ね、「この子にどのように教えたらいのか教えてください」と懇願しました。が、納得できる回答を得られませんでした。その主事自身も教えられる環境になかったからです。そこで「教えてもらえるところへ行こう、同じ悩みを抱えている人が必ずいるはず」と一念発起、大学院進学に挑みました。**本学で夢に近づく**  
このように私の原点は「困っている子どもと指導者がたくさんいる。先生の先生になりたい」という思いから約十五年、それが導かれていきました。ご縁に導かれていきました。言いようがありません。本学の日本語教師課程の最大の特徴は「保育士および幼/小/中/高の教職課程履修生にも一息頑張って日本語教師課程も履修してもらおう、その

## 法のことば

風に揺るがぬ 巖のように  
誇りと 誉れの 中にあるとも  
目覚めた人の ころは 豪も  
揺らぐことなし 巖にも似て

〔ダンマバダ〕八一  
京都女子大学『聖典』  
一一四頁

褒められたり誇られたりすると、私たちの感情は強く揺さぶられます。社会の中に生きる人間にとって、それは避けられないこととでしょう。もちろん、他者の評価に耳を傾けることは、様々な点で自身が成長するうえで欠くことができません。しかし、他人に評価されたい、認められたいという気持ちに過度に抱え込むと、かえって自分を見失ってしまったり、生きづらさや不安、息苦しさへとつながります。そして仏教には、他人からの評価や承認を生き方の軸にするような発想はみられないのです。  
この詩節は「目覚めた人」の姿を、褒められたり動じることのない人として描きます。これは現実離れした理想像のようにみえるかもしれませんが、こうした人格の姿を心に抱くことは、私たち自身の生き方を振り返る大切なきっかけになります。  
(藤井 隆道)

## お知らせ

### ✦ 宗教部文書活動のお知らせ ✦

令和4年度の宗教部カレンダー(卓上型)が出来ました。当カレンダーは味わい深い法語と、本学の絵画部が作成した絵画を組み合わせた内容となっています。皆さんが参加しやすいように、宗教教育課が実施する年間の各行事も日程に入れてあります。カレンダーは宗教教育課(仮設校舎A2階)カウンター他ブックコーナーに置いてありますので、ぜひ皆さんも普段の生活にご利用ください。



### 芬陀利華アンケート

読んだ感想やコメントをお寄せください。(すぐに答えられるアンケートです)



## 仏典

### 『仏説阿弥陀經』 赤井智願

「阿弥陀經」は四枚の紙に収まることから、「四紙經」とも呼ばれる短い経典です。実際に文字数は一九〇字弱で、今の原稿用紙でも四枚半ほどの分量です。浄土真宗では仏事に用いられる経典としても知られています。  
経典の多くは問答形式、つまり釈尊が弟子からの質問について答えていかれるというスタイルで説かれています。けれど、「阿弥陀經」は誰からも質問されていない釈尊が、一方的に弟子である舍利弗へ語りかけられる「無問自説」という特徴的なスタイルで説かれています。  
釈尊が舍利弗に呼びかけられること、実に三十六回、釈尊は舍利弗に向かって、「阿弥陀經」に関する「法事讚

「阿弥陀經」は四枚の紙に収まることから、「四紙經」とも呼ばれる短い経典です。実際に文字数は一九〇字弱で、今の原稿用紙でも四枚半ほどの分量です。浄土真宗では仏事に用いられる経典としても知られています。  
経典の多くは問答形式、つまり釈尊が弟子からの質問について答えていかれるというスタイルで説かれています。けれど、「阿弥陀經」は誰からも質問されていない釈尊が、一方的に弟子である舍利弗へ語りかけられる「無問自説」という特徴的なスタイルで説かれています。  
釈尊が舍利弗に呼びかけられること、実に三十六回、釈尊は舍利弗に向かって、「阿弥陀經」に関する「法事讚

## シリーズ 智慧の蔵 44

### 『嫌われた監督 落合博満は中日をどう変えたのか』

鈴木忠平著 文藝春秋 二〇二二年



本書は日本プロ野球中日ドラゴンズ元監督の落合博満氏の事実に焦点を当てたものである。著者、鈴木忠平氏は、ドラゴンズ番記者として八年間担当したが、当時の十二人の選手やコーチ、フロントからの語りを通して事実を迫った。落合氏は、選手時代も三冠王を三度獲得した名選手であるが、二〇〇四年から二〇一一年までの監督在任期間中、セ・リーグでAクラスを維持し、日本シリーズには五回進出し、二〇〇七年には五十三年ぶりにドラゴンズ日本一に導いた名監督でもある。しかし、秘密主義的取材ルールや、パフエクトピッチングを志している投手を降板させるなど、時に非情にも見える采配に対し、フロントやメディアからの非難にさらされるようになる。監督退任の際には、い